

学校評価アンケート(前期)のまとめ

本校の教育活動のさらなる充実を図るため、保護者の皆様には、アンケートにて評価していただきました。ご協力誠にありがとうございました。また、保護者の皆様による評価と同時に、児童による自己評価および学校職員による取組評価を実施して参りました。ここに、その結果をご報告いたします。なお、学校では、この結果をもとに、2学期に向け、よりさらなる改善を目指し、取組を進めます。どうぞよろしくお願いいたします。

評価基準	A	よくできている
	B	まあまあできている
	C	あまりできていない
	D	できていない
	E	わからない

項目	経営目標	具体的な方策	1学期					回答率(%)					
			評価	A	B	C	D	E	0%	20%	40%	60%	80%
豊かな心の育成	挨拶の励行	A 学校の取組への評価	保護者	40	50	3	1	6					
			児童	71	26	3	1	1					
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	23	55	17	1	3					
			児童	62	31	5	2	1					
	保護者・児童の皆様から概ね肯定的な回答をいただきました。ご家庭での挨拶への取り組みに対し評価の差があります。保護者の皆様も、地域を始め日常からお子さんに挨拶の声を掛けていただくよう、よろしくお願い致します。												
	いじめの防止	A 学校の取組への評価	保護者	22	61	6	0	12					
			児童	87	9	2	2	1					
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	32	62	6	0	0					
			児童	56	38	5	2	1					
	保護者・児童の皆様から概ね肯定的な回答をいただきましたが、児童の評価にC・Dが数名いることを重視します。日頃からいじめ防止の指導を徹底し、C・Dが0になるよう、児童が安心して通える学校を目指します。												
異年齢の集団活動	A 学校の取組への評価	保護者	39	51	6	0	4						
		児童	64	21	11	4	1						
	B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	29	57	10	1	4						
		児童	63	25	9	3	1						
今井小では、1年生から6年生までを活動班とする「なかよし班活動」を実施しています。新型コロナウイルス対策のため、多数の児童が活動する学習に制限があります。工夫しながら取り組みを継続させていきます。													
学力向上	基礎・基本の定着	A 学校の取組への評価	保護者	25	63	4	1	8					
			児童	68	28	4	1	1					
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	22	65	13	0	1					
			児童	50	41	6	3	1					
	保護者・児童共に概ね肯定的な評価をいただきましたが、学力調査の結果を分析すると、前学年までの基礎・基本の定着が不十分な児童への指導が課題となっています。前年度までの学習を振り返りながら指導をしていきます。												
	ICTの活用	A 学校の取組への評価	保護者	35	50	5	1	9					
			児童	62	30	7	1	1					
		B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	26	53	10	1	10					
			児童	76	20	3	2	1					
	今年度から、一人一台端末の「Chromebook」を活用した学習が始まりました。児童からは学校評価・自己評価共に90%を超える肯定的な回答を得ています。学力向上に向けた効果的な活用方法を今後も検討していきます。												
家庭学習の習慣化	A 学校の取組への評価	保護者	25	62	10	1	2						
		児童	85	13	2	1	1						
	B ご家庭での取組への評価・児童の自己評価	保護者	35	49	19	2	0						
		児童	50	32	12	6	1						
「家庭学習に取り組んでいる。」という児童と、「もっと取り組んでほしい。」という保護者の願いから、A・Bに大きな差がある結果となりました。学校では、C・Dの児童が減るようにご家庭と協力しながら指導していきます。													

体育的 活動の 充実	A 学校の取組への評価	保護者	30	61	4	1	4	
		児童	72	20	5	4		
	B ご家庭での取組への 評価・児童の自己評価	保護者	44	45	9	1	2	
		児童	77	16	4	3		
新体力テストを実施できましたが、コロナ禍において児童の運動内容にはかなりの制限がかかっています。密にならないよう、運動方法を工夫しながら体育の授業を中心に児童の体力向上を目指していきます。								
健康な 体	A 学校の取組への評価	保護者	43	50	4	0	3	
		児童	83	13	3	1		
	B ご家庭での取組への 評価・児童の自己評価	保護者	42	54	2	0	2	
		児童	75	22	3	0		
新型コロナウイルスの感染者数が増えている中、校内でのクラスターを避けられるよう、今後も「新しい生活様式」における衛生指導を徹底していきます。ご家庭でも、引き続き検温等へのご協力、よろしくお願いします。								
生活 習慣の 見直し	A 学校の取組への評価	保護者	35	46	9	0	10	
		児童	51	31	12	7		
	B ご家庭での取組への 評価・児童の自己評価	保護者	35	46	9	0	10	
		児童	49	34	10	7		
この項目では、主に「今井小SNSルール」について質問しました。上記の家庭学習への取組と同じく、「ルールを守っている。」という児童と保護者との認識に差があるようです。学校でも「Chromebook」の活用と並行して指導していきます。								
地域・ 家庭と の連携	A 学校の取組への評価	保護者	44	49	6	0	1	
		児童	49	34	11	5		
	B ご家庭での取組への 評価・児童の自己評価	保護者	30	64	2	0	4	
		児童	42	40	13	5		
ホームページやお便り等で、学校やお子さんの様子をご家庭にお伝えしています。児童のC・D評価が多いので、ぜひご家庭でも学校生活でのことを話題にさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。								
教師の 働き方 改革	A 学校の取組への評価	保護者	27	58	5	0	10	
		児童	78	19	3	1		
	B ご家庭での取組への 評価・児童の自己評価	保護者	19	58	10	3	10	
		児童	52	28	12	8		
この項目は教職員における「働き方改革」についての質問です。働き方を見直すことで教員の授業を磨くとともに、効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方改革を進めていきます。								

自由記述欄 多数のご意見・ご感想をいただきました。ありがとうございます。→にて返答いたします。

一人一人に合った学習やコミュニケーションがもっと図られることを期待します。 →児童一人一人に応じた学習支援については、今後もより一層充実できるよう、取り組みを続けていきます。
もう少し宿題があってもいいかなと思う日がある。ドリルとか。家庭でなにかやっている前提で宿題をだしているのかな。 →宿題の量については、学習内容や学習の進行状況によって、その量が変わるときがあります。
・学校が嫌い、授業がいやだ、マイナスだらけにならないようにたまにはお遊びな授業など色々工夫してもらえると帰宅後の子供達の話もマシンガントークになりそうです。それが楽しみです。 →活動(遊び・体験)を通して学習することは非常に効果的です。コロナ禍での制限がありますが、工夫して取り組んでいきます。
・たくさん目目で子供たちを指導できたらよいのではと思います。教師一人でたくさんの子供達を指導するのはいきとどかないところがあるかとおもいます。何かそれをカバーできる教育方法があればいいなとおもいます。 →小学校でも教科担任制が導入されます。担任だけでなく、学年・専科・講師の先生と複数の教員で児童の指導をしています。
・学校での子供の様子は保護者会や、月初めのプリントでしか分からないのでもう少しホームページ等に写真などアップするかせつかくクロムブックを使ってオンラインでの授業をするのでその際に普段の様子が分かる様にアルバムにして授業風景が保護者に見える様になれば良いと思います。 →ご意見ありがとうございます。児童全員の顔が見えないようにかつ全身が映るように撮影するなど、人権及び個人情報の保護に関わる問題が多く、写真や映像のインターネット上でのアップが難しくなっています。ご了承ください。
・子供に対しての言葉遣いや態度は子供が真似するのでちゃんとして欲しい。言葉遣いを気を付けていただきたいです。 →ご意見ありがとうございます。教員の児童への言葉遣い・態度はすぐに改善します。学校でも、夏季に体罰防止研修を行い、その中で取り組みました。今後も、改善等が見られないようでしたら、校長、副校長まで連絡をお願いします。
・ICT学習においてChromebookを入れるケースを一緒に貸出していただけると、助かります。 →ケース等の付属品は必需品ではないため、児童全員分を学校で購入するという予定はありません。ご家庭にてご用意ください。
・算数の授業内容やプリント問題を検討した方が良くと思います。 →どのような問題点があるのか、次回は記入していただくと検討の方向性が定まるので、よろしくお願いします。
・先生方の取り組みにいつも感謝しています。引き続きよろしくお願いします。 →ありがとうございます。2学期以降も、引き続き学校教育へのご理解・ご協力をよろしくお願いします。